

大石町谷地区の 景観まちづくり

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です

令和5年度号
No.3

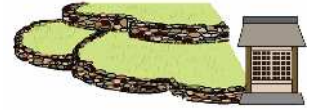
令和5年10月 発行
松阪市建設部都市計画課



松阪市景観計画を進めています！

松阪市では美しく豊かな景観を、かけがえのない市民共通の資産として、誇りと愛着の持てる郷土づくりを実現するため、松阪市景観計画を進めています。

その中で、良好な景観の形成が特に必要な地区を重点地区に指定し、市民の皆様に「もっともっと松阪市の景観を好きになってほしい」との想いで、まちなみ保全に取り組んでいます。



令和5年4月に松阪市景観計画の改定が行われ、大石町谷地区が重点地区（候補）に追加されました。

大石町谷地区一帯の美しい石積みの棚田は、地域を代表する景観になるため、この地区の特性や価値を知っていただけるよう、今後も啓発を進めていきます。

※重点地区（候補）に追加されたことによる建築制限などはなく、候補地区指定前と変わりはありません。

大石町「谷の郷」について

谷地区は、まつさか香肌イレブンの1座である白猪山の麓に広がり、山の斜面に芸術的な石積みの棚田を見ることができます。当地の棚田は、先人の技術と後継者の努力によって脈々と引き継がれ、地区の自慢であるとともに、平成14年度の「松阪まちづくり景観賞」の景観部門・最優秀賞にも選ばれ、文化的景観として高く評価されています。

棚田の歴史は、段々田の開墾にはじまり、江戸中期のしゃくぬけ（山津波）で集落は大被害を受け、その教訓の積み重ねにより、山津波に備えた石垣が積み上げられてきました。

石垣と暮らしが密着した谷地区の棚田は、大切に維持管理され、丹精込めた棚田米が作られ続け、住民の暮らしや営みに密着していると感じられます。



【大石不動院】

和歌山街道沿いにある大石不動院は、「大石の不動さん」として親しまれ、榎田川の清流を望み地域のランドマークとなっています。また、境内地の露岩には、ムカデランの大きな着生群落（国指定天然記念物）が見られます。



市内では4地区が重点地区に指定されています！

松阪市では、市を代表する良好な景観特性を有し、特に景観保全に努めていく必要がある地区を『重点地区』として指定しています。

重点地区とは、住民、事業者、行政が一体となり、地区の美しい景観を守り、将来にひきついでいくため、市の景観計画に位置づけられた地区のことをいいます。現在、市内4箇所が重点地区に指定されており、地区特有の歴史的まちなみを保全するとともに地区間の交流活動や、住民によるまちなみの保全活動、行灯の点灯などまちなみの演出、地区の歴史や偉人の探求活動など様々な景観まちづくり活動が行われています。

【重点地区の位置】



当地区以外の重点地区（候補）を紹介します！

G 波瀬周辺地区

街道筋には、旧波瀬本陣や旧脇本陣の建物が残り、宿場町として栄えた往時を偲ぶ歴史的まちなみが今もみられます。



H 深野棚田地区

白猪山麓に位置し、深野だんだん田として、山の斜面に120段を数える芸術的な石積みみの棚田を見ることができます。



I 柳瀬新田 ・大溝新田地区

南勢地域最大の「深蒸し煎茶」の産地として、お茶を栽培する茶畑の文化的な景観が見られます。



K 相津地区

黒を基調とした下見板張りの主屋や離れ、土蔵、塀などで構成された建物と大きな屋敷地からなる歴史的景観があります。

